

お釈迦さま
旅立ちの日

大涅槃

ねほん



文化交流展示室へトピック展示へ
展



仏涅槃図 命尊筆 鎌倉時代・元亨3年(1323)/九州国立博物館

【開催場所】4F 文化交流展示室 関連第11室

〈開館時間〉午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで) [月曜日休館]

※ ()内は、団体料金(有料の方が20名以上の場合)。

※ 期間中は特別展「古代日本と百済の交流－大宰府・飛鳥そして公州・扶餘－」の半券でご観覧いただけます。

※ 障がい者手帳等をご持参の方とその介護者1名は無料です。

展示室入口にて障害者手帳等(詳細についてはHP等をご確認ください)をご提示ください。

※ 高校生以下・18歳未満および満70歳以上の方は、

展示室入口にて生年月日がわかるもの(生徒手帳、健康保険証、運転免許証等)をご提示ください。

※ キャンパスメンバーズの方は無料でご観覧いただけます。展示室入口にて学生証、教職員証等をご提示ください。

2015 1.14 WED. [水] → 2.15 SUN. [日]

観覧料: 一般 430円(220円)、大学生 130円(70円)

高校生以下・18歳未満および満70歳以上の方は無料



九州国立博物館

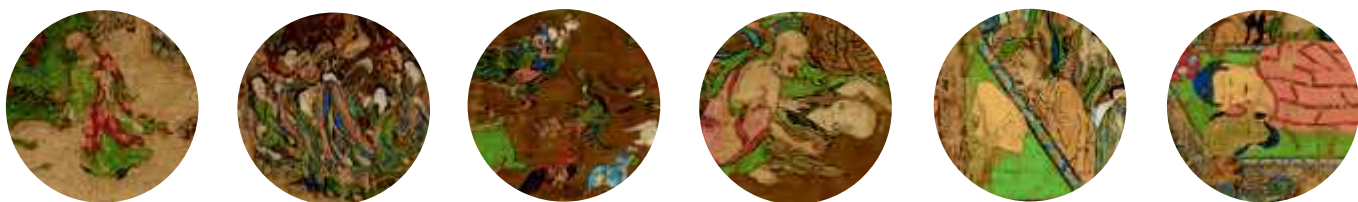
大涅槃

文化交流展示室（トピック展示）

展

涅槃とはサンスクリット語のニルバーナに由来する言葉で、迷いの火を吹き消した状態のこと。仏教において悟りの境地を意味し、とくに釈迦の死を「涅槃」と呼びます。その様子を表わした涅槃図の制作は釈迦誕生の地であるインドで始まり、仏教が伝えられるとともに東アジア全域に広がりました。日本では古くから宗派を問わず制作され、人々に親しまれ、他の地域とは比べようもないほど豊かな展開を遂げました。

このたびのトピック展示では、約八十年ぶりに存在が確認され、当館の所蔵となった仏涅槃図を初公開するとともに、時代も地域もさまざまな選りすぐりの二十点をご紹介します。その多彩な世界をお楽しみください。



お釈迦さま 旅立ちの日

今からおよそ二千五百年前、満月の輝く二月十五日の夜、インドのクシナガラにおいて釈迦は八十歳の生涯を終えました。そこに集った人々は

釈迦の死を目の当たりにしてはげしく嘆き悲しみ、失神する者や

自らの髪を抜く者などが続出しました。

人間だけでなく動物すらも涙を流し、

木々は悲しみのあまり枯れて鶴のように白くなり、亡くなった母・摩耶夫人までも

駆けつけるなど、あらゆる生き物にとって

その死（涅槃）は重大な出来事でした。



《重要文化財》仏涅槃図 陸信忠筆
中国・南宋時代（13世紀）／奈良国立博物館

仏涅槃図 命尊筆
鎌倉時代・正中2年（1325）／兵庫・妙法寺

四面像
中国・西魏時代（6世紀）／大阪市立美術館



公共交通機関

【西鉄電車】西鉄福岡（天神）駅から西鉄天神大牟田線（特急約13分／急行約17分）で西鉄二日市駅乗り換え、西鉄太宰府線（約5分）で西鉄太宰府駅下車、徒歩約10分 ※特急／急行料金不要 【JR】JR博多駅からJR鹿児島本線（快速約15分）でJR二日市駅下車、JR二日市駅から西鉄二日市駅（徒歩約12分、バス約5分）、西鉄二日市駅から西鉄太宰府線利用 【西鉄バス】博多バスターミナル（1階13番のりば太宰府行き）から西鉄太宰府駅下車（所要時間約42分）、徒歩約10分

車

【九州自動車道】太宰府ICまたは筑紫野ICから高雄交差点経由で約20分 【福岡都市高速】水城出口から高雄交差点経由で約20分 【タクシー利用】JR二日市駅から約15分・福岡空港から約30分 ※駐車場（有料）に限りがございますので、予めご了承ください。



九州国立博物館

太宰府天満宮横

〒818-0118 福岡県太宰府市石坂 4-7-2
<http://www.kyuhaku.jp>

NTT ハローダイヤル 050-5542-8600
（午前8時～午後10時／年中無休）